

中間振り返り(平成26年8月末現在)

市政改革プランについては、年度の中間段階(8月末現在)においても、その取組状況をとりとまとめ、その結果を当年度の取組、翌年度の予算案や運営方針案に反映する「中間振り返り」を実施しています。

その結果、ほぼすべての項目で、改善の取組が実施済み(見込)となったところ です。

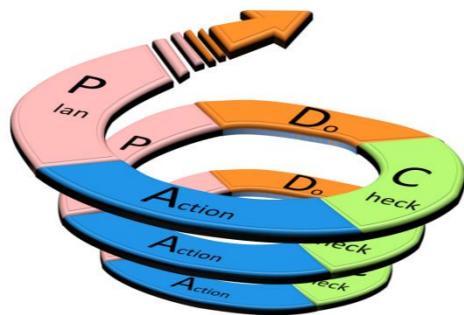
しかしながら、平成25年度末現在では「成果目標の達成に向けて必ずしも順調ではない」と評価された成果目標が20あったところであり、成果の実現に向けて、PDCAサイクルを徹底していくことが必要です。

今回の振り返り結果を踏まえ、引き続き、スピード感を持って市政改革を推進してまいります。

詳しくは、大阪市ホームページをご覧ください。

PDCAサイクルとは、施策・事業に必要な要素である企画(Plan)、運営(Do)、評価(Check)、改善(Action)を一貫した流れのものとしてとらえ、それらを循環させることで、以降の施策・事業の改善に結びつける手法です。

PDCAサイクルの徹底



詳しく知りたい方は・・・

市政改革プランの進捗状況の詳細については、各区役所区民情報コーナー、区役所出張所、市民情報プラザ(市役所本庁舎1階)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)に冊子を設置しているほか、大阪市ホームページでもご覧いただけます。

区ごとの進捗状況についても、グラフ化するなどわかりやすく比較できるようになっていますので、ぜひご覧ください。



問い合わせ先: 大阪市市政改革室PDCA担当
 電話: 06-6208-9885 FAX: 06-6205-2660
 Eメール: ac0003@city.osaka.lg.jp



「市政改革プラン—新しい住民自治の実現に向けて—」

の進捗状況 平成26年10月

大阪市では平成24年7月に「市政改革プラン—新しい住民自治の実現に向けて—」を策定し、活力ある地域社会づくりとそれを支える区政運営、ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営等の柱立てに沿って改革を推進しています。

その進捗状況については、各年度の8月末と3月末にとりとまとめて、今後の取組に活かすことでPDCAサイクルを推進しています。

改革の3本柱

「ニア・イズ・ベター」の徹底
 大きな公共を担う
 活力ある
 地域社会づくり

- 地域住民が主体
- 多様な協働(マルチパートナーシップ)による活力ある地域社会づくり

「ニア・イズ・ベター」の徹底
 自律した自治体型の
 区政運営

- 区内の施策や事業は区長が決定
- 局は区長の補助組織
- 地域社会づくりを支援

ムダを徹底的に排除し、
 成果を意識した
 行財政運営

- 民間でできることは民間に
- 選択できるサービス提供
- 応分の負担(受益と負担の再検討)
- ムダの徹底排除

「現役世代への重点投資」
 という政策転換
 を支える財源捻出

スリムで確固たる
 行財政基盤の構築

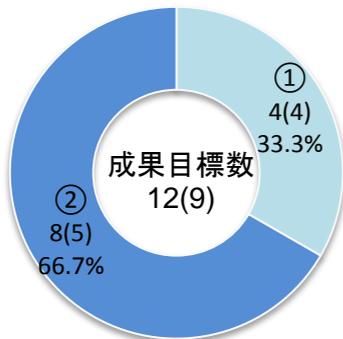
改革の柱ごとの進捗状況(平成25年度末現在)

評価については、市政改革プランのアクションプラン編の戦略単位の項目について設定した64の成果目標のうち、数値化されていないものや平成25年度末現在で実績を測定できないものを除く51の成果目標を対象としました。

そのうち約6割にあたる31の目標が概ね順調となるなど一定の成果が出ていますが、20の成果目標については必ずしも順調ではないという評価となっており、昨年度との比較では、「1 大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」や「2 自律した自治体型の区政運営」で区民意識等の変化を指標にした目標において必ずしも順調ではないとの評価が増加しています。

こうした項目については、成果の実現に向けて改善を図りながら、重点的に取組を進めています。

1 大きな公共を担う活力ある地域社会づくり



()は昨年度

①概ね順調

【地域資源が循環する仕組みづくり】

成果指標: 市が関与したコミュニティ・ビジネス等の起業件数

【中間支援組織の活用】

成果指標: 適切な中間支援組織による支援を受けられると感じている団体の割合 など

②必ずしも順調ではない

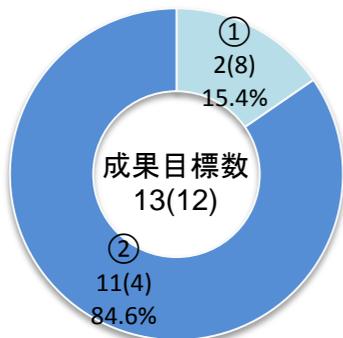
【地域活動の活性化】

成果指標: 「地域団体の活動内容等を知る機会が増えた」、「地域活動に参画しやすい環境が整っている」と感じている区民の割合

【多様な協働(マルチパートナーシップ)の推進】

成果指標: さまざまな主体の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合 など

2 自律した自治体型の区政運営



()は昨年度

①概ね順調

【区役所における区民サービスの向上】

成果指標: 来庁者への案内や証明書発行等の窓口サービスの向上を感じている区民の割合 など

②必ずしも順調ではない

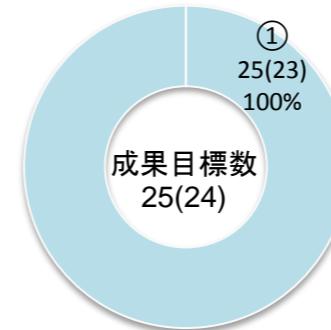
【多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり】

成果指標: 多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合

【区民が区政運営に参画する仕組みづくり】

成果指標: 区政運営について「区民との対話や協働により進められている」、「区民の評価が区に届いている」と感じている区民の割合 など

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営



()は昨年度

①概ね順調

【財政規律の遵守と健全な財政運営】

成果指標: 広告事業目標額、売却収入目標額等

【経常経費の削減】

成果指標: 電気使用量、物品購入費等

【施策・事業の聖域なきゼロベースの見直しと再構築】

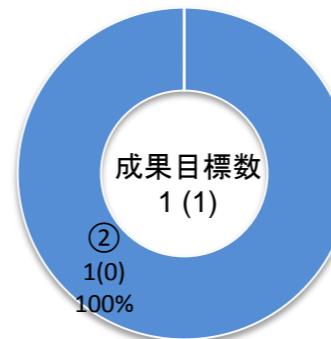
成果指標: 見直し(削減)額

(参考)平成26年度削減効果見込み額211億円

【外郭団体の必要性の精査】

成果指標: 外郭団体数、外郭団体の見直し状況进行评估できると思われる市民の割合 など

4 PDCAサイクルの徹底



()は昨年度

②必ずしも順調ではない

【PDCAサイクルの徹底】

成果指標: 施策目的の実現を意識して事業や業務に取り組んでいる職員の割合

【評価区分】

- ① 成果目標の達成に向けて概ね順調
(取組期間3年: 66.7%以上*、取組期間2年: 90%以上、取組期間1年: 90%以上)
 - ② 成果目標の達成に向けて必ずしも順調ではない
(①で掲げた進捗率に達しない場合)
- *昨年度は33.4%以上を①と評価(取組期間3年の場合)